鎌倉パートナーズ

2006年9月発行　　第40号

特定非営利活動法人　鎌倉市市民活動センター運営会議

神奈川県鎌倉市御成町18－10　NPOセンター鎌倉

http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/

『 世界が全体幸福にならないうちは … 』

副理事長　一木千恵子

子どもの頃、小学校や子ども会での映写会が楽しみで、宮沢賢治の「注文の多い料理店」など、ドキドキしながら見入ったのを覚えている。

この夏、賢治ゆかりの地、花巻を訪ねる機会を得た。青年たちに農業指導をしたという羅州地人協会は、花巻農業高校に移築され、オルガンの前にいくつかの丸椅子が並ぶ小さな保育室のようであった。

オルガンやセロを弾き、青年たちと歌い、世界共通言語エスペラント語を教える賢治の姿が目にうかんだ。そして、「グスコーブドリの伝記」に出てくるイーハトーボ（理想郷）をめざし、「世界が全体幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」として奔走する生き様を思った。

人々の生活や現実を居ながらにして知る現在、夢想ともされる幸福観を貫き、実践する賢治の姿勢に今こそ学ぶ必要があるのかもしれない。羅州地人協会は、さながら公益性の高いNPO法人と言えよう。

さて、賢治の活動した時代から80年を経て、私たちNPO団体は何ができるのであろう。

先日、「住民が主役のまちづくり」と題して自治基本条例の学習会が開催され、9月1日付け広報かまくらでも条例作成を担うメンバーの再募集があった。

自治体の憲法ともいうべき自治基本条例をつくる動きは、2000年4月地方分権一括法の施行により、自治体の権限が拡大したことに始まる。

この法律は、財源移譲その他問題点が指摘されているが、自治体の住民自治の方針と基本的ルールを自分たち（住民と行政）で決めることは、街の課題や到達点の確認と相まって意義深い。

作成に際しては机上の検討に留まらず、様々な市民の意見を聞いていくプロセスの重要性が共通認識となっている。

鎌倉のNPO団体は多分野にわたって実績をあげている。その集積は、住民自治の核となる自治基本条例を作るうえで不可欠であろう。

多くの市民の手で、賢治が理想とした「全体が幸福になる」まちづくりを実践していきたい。

藤沢市市民活動推進センターを訪問して

研修部会員７名は、７月１２日(水)藤沢市市民活動推進センターを訪ね手塚所長よりお話を伺った。

ＮＰＯ法人藤沢市市民活動推進連絡会は市民活動推進センターの指定管理者となっているが、センター関連事業以外に自主事業として「ぽ・ぽ・ぽ庵（さんぽあん)」事業等も行っている。(注１)

＜藤沢市市民活動推進センターの概略及び運営＞

１．所長を含め３名の常勤事務員と８名の時間給スタッフと登録ボランティアで行っている。
２．フロアースペースは約１３０坪あり、ＮＰＯセンター鎌倉・大船の２館の約２．６倍になる。
３．登録団体は３５７団体である。(鎌倉は３１１団体)
４．毎年、登録団体に活動目的・公益的な活動の有無について書類を提出してもらい登録更新を行っている。
５．情報の提供はセンターニュースとして「NEWS LETTER」(毎月)・情報クリップ（毎月）の発行、メールマガジン（週２回）の発信をしている。ホームページは月２回更新している。また、タウンニュースと提携し、月２回市民活動通信を掲載している。

同センターは、藤沢市の市民活動活性化のために事業を展開しているとのこと、資金獲得への努力と事業活動の活性化等、学ぶべきところが多く参考になった。

時間をさいて下さった手塚所長に感謝します。

なお、過日の朝日新聞に「ＮＰＯで成功するコツ」が掲載され話題になった。(注２)

① はっきりした使命を　② 仲間選びは慎重に
③ 事前に実態調査を　④ ない力は外から
⑤ 財源は多様に　⑥ 活動は楽しく
⑦ 小さくても成果を

今後の鎌倉での活動の参考にしたい。

（研修部会　吉川　昇）

(注 1) ぽ・ぽ・ぽ庵（さんぽあん）
みんなが「健全」「元気」でいるために、自ら活動・活躍する人たちのための施設で、みんなの溜まり場（市民交流支援施設）として藤沢市長後地区に開設。近隣の方も立ち寄っていただけます。

(注 2) 平成 18 年 3 月 11 日発行朝日新聞 be 版

登録団体懇話会開催 (8 月 19 日・NPOセンター大船)

毎年恒例の「玉縄首塚まつり」の日に、鎌倉市市民活動センターに登録している団体が参加して利用登録団体懇話会が開かれました。参加は 38 団体、約 50 名でした。

第1部・利用登録団体懇話会

理事長あいさつに続き、各部会・諸、実行委員会担当理事から当面の当運営会議の活動方針が紹介されました。

その後、事務局長より次の件について説明がありました。

(1)運営会議の当面の活動
・NPO 支援かまくらファンド　・地下道ギャラリーパネル展
・第 8 回フェスティバルの報告と第 9 回実行委員募集について

(2)NPO センター利用に関するお知らせ
・時間外利用について　・個人情報アンケートについて
・木製ロッカー貸し出しについて
・会議室予約状況の HP 上公開について
・パンフレット用ラックの整理終了について
・マルチメディアプロジェクター、紙折り機設置について

(3)意見交換

第2部・利用登録団体交流会
柏尾川沿いに椅子を並べ、
花火を見ながらの交流会でした。

イベント情報

由比ガ浜　リサイクル市

3Rの推進と鎌倉市廃棄物処理施設建設基金への寄付を目的に、リサイクル市を開催します。毎月、第4土曜日に開催しますので「四土市」と呼んでください。

開催日：9/23、10/28、11/25、12/23
場　所：KKR　わかみや　駐車場
販売時間：10時～15時
出店費：4000円（駐車料金を含む）
スペース：駐車区画内
主　催：ICP地域振興協会
申込み先：ICP地域振興協会
家庭利便性福利厚生事業部会
TEL 0467-43-1804、FAX　0467-44-0881
往復葉書：大船1-23-16メーゾン大川ビル4F
E-mail：ribena@icp.or.jp
http://www.icp.or.jp

生涯学習講座

テーマ『人間探究』 PART　XVI

開催日：10月18日（水）、25日（水）、11月1日（水）
時　間：午後2時～4時
場　所：第1回　NPOセンター鎌倉（市役所隣）
第2回・3回　鎌倉生涯学習センター第6集会室
定　員：30名
参加費：各回500円
内　容：10/18 介護制度について知っておいた方が良いこと
10/25 風邪とインフルエンザ・健康食品について
11/1　日本人の信仰心
主　催：鎌倉市社会教育推進員OBグループ
申込み先：TEL　0467－24－0446（岡崎佐恵子）
（問合わせ）　TEL　0467－32－3395（長嶺　博子）
※10月11日（水）までに電話でお申し込みください。
当日会場でも受け付けますが、定員になり次第、締め切らせていただきます。

第18回支援会員登録希望者向け講習会

ちょっとした自分の空き時間を活用して、地域のたすけあい活動に参加してみませんか。ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰの活動は有償のボランティア活動です。男性会員大歓迎！

日　時：10月24日（火）、25日（水）、26日（木）
全3日　午前9：30～12：00
場　所：大船学習センター2階
対　象：市内在住、年齢・性別・資格等に関係なく健康で支援に理解と熱意のある方
受講料：無料　※先着30名
持ち物：筆記用具
主　催：鎌倉市ファミリーサポートセンター市民会議
問合せ先：TEL　0467-43-5401
FAX　0467-42-7415
e-mail:famisapo@pluto.plala.or.jp
申込み先：往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、下記にお申し込み下さい。
託児（無料）を希望する場合は、お子様のお名前・性別・年齢も明記して下さい。
247-0055　鎌倉市小袋谷２－１４－１４
鎌倉市ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ

ミニ・ウォークラリー

史都鎌倉　ミニ・オリエンテーリング

日　時：10月8日（日）、9日（祝）
受付：12時30分～15時
場　所：鎌倉生涯学習センター・集会室
資料代：500円（中学生以下無料）完歩証贈呈
※できるだけ方位磁石（100円程度の物）をお持ちください。
コース設計：モルゲンオリエンテーリングクラブ公認指導者
主　催：鎌倉ウォークラリー研究協議会
問合せ先：TEL 046-871-3638（渡辺）

鎌倉団塊プロジェクト主催

イベント第2弾日程決まる！！

日　時：平成18年11月19日（日）13：00～
場　所：御成小学校多目的ホール
内　容：第一部
《基調講演》
足立大進さん（円覚寺管長）予定
《市民活動体験談》
市民活動団体3団体
第二部
《交流会》
※詳細は、後日決定次第通知いたします。

地域ボランティア・エアポート

高校生のボランティア活動推進事業として、県教育委員会は、県内16か所の市民活動サポートセンターを「地域ボランティアエアポート」として位置付けました。
当センターも『**エアポート**』として高校生のボランティア活動の支援をいたします。市民活動団体のご協力をお願いいたします。

登 録 団 体 見 て 歩 き　～最近登録した団体～

手話交流会「すみれ会」

≪聴覚障害者と健聴者がお互いに助け合い、交流しましょう≫という主旨で始まった会で、今年でもう 33 年を数える。創立当時は、行政が手話通訳派遣制度を設けた頃で、法律手続きや行政面では、聴覚障害者の生活の改善がはかられつつあった。そんな折、市の主催する手話講習会が開かれ、手話という新しい言葉に興味を持つ人々が集まった。そこで覚えた手話を、講習会終了後も役立てようと、創立者の一人である守屋貞子さんは考え、「**すみれ会**」が生まれるきっかけとなる≪集まり≫を始められた。

（集会の様子）

「きこえる」「きこえない」の壁を取り除き、心のふれあいを合言葉に、互いに品性を高めあっていく、そういう場として「すみれ会」の活動は続けられてきたそうだ。

ひと口に 30 年といっても、その道のりは山あり、谷ありと平坦ではなかったにちがいない。

現在の活動は、6 月の鎌倉生涯学習センター・フェスティバルへの参加、7 月の清泉女学院でのバザー、年数回の講習会（今年度は絵手紙、造花、編物など）、年 1 回の旅行、食事会によって構成されている。会員はなんらかの役につき、会を盛り立てている。そして、30 年以上変わらず続けているのは、月 2 回の集会。バザーの準備や、旅行の計画をたてながら、おしゃべりをするのが何よりの楽しみだと、会員の方は話してくださった。

（清泉バザーの風景より）

ちなみに、手話といっても一種類ではなく、健聴者が習うのは、日本語に手話をつけているもので、聴覚障害者は独自の語順で話しているのだそうだ。

「すみれ会」では、聴覚障害者も手話講習会に参加するなどして、互いに学びあい、100%通じる手話で会話している。

また、現在鎌倉市の手話講習会は手話サークル「笹りんどう会」が開講している。（H. I）

連絡先 ：FAX 0467-43-9623（佐藤）

NPO 法人・障害者地域作業所・スローライフ

NPO 法人・障害者地域作業所・スローライフは、湘南モノレール「片瀬山」から歩いて 5 分ほどの、静かな美しい住宅街のバス通りに面した便利な所にあります。

代表の中島公夫さん、副所長の後藤しげ子さんにお話を伺って来ました。

運営方針で、「障害者の地域ケア対策推進の一環として地域ぐるみの支援・協力により、 主に就労することが困難な在宅障害者に対し、基本的な地域生活習慣の習得、社会参加のための作業訓練等を行い、障害者が地域社会の一員として健常者と共に生活し社会参加、社会復帰の促進に寄与する」とありますが、そんな難しい言葉ではなく、個人個人の持っている機能・能力を活かして希望が持てる生活を目指すことを大きな指針として、現在活動なされています。

主な作業内容

- **手づくり品の作製**（クッション・雑巾・かざりマジック等）
- **野菜販売**：毎週木曜日に作業所の前でとりたて野菜の販売を農家さんの協力で行っています。
- **シイタケ栽培**：今年から栽培を始めました。収穫までしばらくかかりますが、楽しみです。
- **チャリティコンサート**：毎年音楽家のご協力を得て、鎌倉プリンスホテルで行っています。
- **パソコン入力**：これからの新しい事業の柱として育てていきたい、と考えています。

これらの事業に必要な車は、以前は「日本 TV24 時間愛は地球を巡る」より寄贈されていましたが、新たに「日本財団」より新車が寄贈され、活動に大いに役立っています。（A. N）

連絡先 ： TEL 0467-32-0737（後藤しげ子）
ホームページ：http://www.geocities.jp/nposlow/
E-mail：nposlow@ybb.ne.jp

登 録 団 体 見 て 歩 き　～最近登録した団体～

鎌倉グリーンマップ

８月の**鎌倉グリーンマップ**の例会に参加させていただき、グリーンマップとその活動についてお聞きしました。

グリーンマップは 1992 年にニューヨークのデザイナー、ウェンディー・ブラウアーさんによって提唱されたまちの環境の良いところ、悪いところを判断しながら作る情報地図であり、2006 年現在、世界中のおよそ 50 か国 300 以上の都市で活動が行われております。また、ハブ組織として日本の京都が位置付けられ、グリーンマップ・ジャパンとして活動を行っており、鎌倉グリーンマップは 2003 年 4 月から活動を始めています。

鎌倉には、海・山・緑の自然環境、古都の史跡、近年の文化遺産と豊かな生活環境、そして「鎌倉」の名とそのイメージがあります。

鎌倉グリーンマップでは、市民が中心となり、

・歩く（フィールドワーク）　・話す（ディスカッション）

・作る（マップメイキング）

を積極的に行うことで、観光客の目を離れた鎌倉の再発見とその認識をまちの現状に基づきながら活動を展開しています。

具体的には 130 個以上あるグリーンマップのアイコン（絵記号）から生活・文化・歴史・自然の4分野に分類し選別した 25 個のアイコンが使用されています。通常の地図では記載されていない場所や見つけにくい場所が、分かりやすく、アイコンにより示されています。

作成された鎌倉のグリーンマップは、ニューヨークや京都などに送付されており、高い評価を受けているとのことです

取材後、メンバーの方々は北鎌倉方面のフィールドワークに出かけられました。「メンバー一同、一緒に活動したいという方をお待ちしています」とのことでした。　（T.K.）

連絡先：TEL　070-6558-8649（島尾）土日休日のみ
e-mail : shin-mac@kamakuranet.ne.jp

（出来上がった鎌倉のグリーンマップ）

かまくら街並み研究所

鎌倉らしい風情のある西御門に**かまくら街並み研究所**の波多さんをおたずねしました。2003 年の 10 月に 3 人ほどのメンバーで始められたそうです。きっかけは、大きな別荘がまったく「鎌倉らしい風情」もない１１軒もの家に分譲されてしまったのをまのあたりにしたことからだそうです。住まなくなった家をどうしてよいかわからないでいるうちに開発業者の手に渡り、細分化されるということが多いので、何とか相談に乗ってあげられないか、そしてより鎌倉らしい風情のある町にできないかと思われたそうです。

自分の住んでいる町をより風格のあるものにするためには、相談に乗るだけではなくこれからの世代に鎌倉をよく知ってもらい好きになってもらうことも大事なことと思い、子どもたちを連れて街並みを歩いていろいろとお話をされたりしているそうです。最初はお嬢さんの通っている小学校の生徒さんと歩かれたとのこと。そのうち、話を聞いた他の学校からも依頼されるようになったそうです。総合学習の時間や社会科の時間になさるとか。子どもたちが調べたことの発表会に招かれたこともあると、とても嬉しそうに話しておられました。特に小学校低学年の子どもの感性は素晴らしいそうです。「以前は玉石でよかったのが護岸工事のためコンクリートになってしまいつまらない」とか「塀はどんなのが良い」とか。こんな話も伺いました。護岸工事で鎌倉石を使っている所がコンクリートで修理されてしまったことにがっかりした子らが市にお願いしたところ、前と同じような鎌倉石で出来あがって、子どもたちも大いに喜んだとか。大人の相談に乗るのも大切ですが、次世代を担う子どもたちに鎌倉をよく知ってもらい守ってもらうことは、より大切なことですね。また「将来は誰でも何でも気軽に話せる街並みサロンを作りたい。また路地や塀などいろいろなことを書いた街並みブックを作りたい」等、抱負を話してくださいました。地道なボランティア活動を続けておられる「街並み研究所」に感動して帰ってきました。（M. Y）

（まちあるきをしよう
小学校での課外授業風景）

連絡先：TEL　0467-25-6176　FAX　0467-25-6172
（かまくら街並み研究所　波多　周）

理事会 ・ 各部会 ・ 諸、実行委員会報告

理 事 会

「役員の任期は〇年とし、再任を妨げない」が普通ですが、我運営会議は「再任は 1 回限り」のため、今期理事は 8 人中 7 人が新顔。しかも、とびっきりの個性派ぞろいです。

指定管理者として NPO センターの施設管理を担う一方、中間支援組織としての役割も大きい。野村総研跡地や世界遺産にどう絡むのか等、課題は山積みで、既に 5 回理事会を開催しました。皆さんの智恵を貸してください。

9 月末に開催される「全員会議」で意見交換しましょう。

正会員大募集！！ （副理事長 一木千恵子）

全 員 会 議:9 月 29 日(金) 18:00～ 大船センター

理事会日程:9 月 7 日 10 月 5 日 11 月 2 日

研 修 部 会

研修部会では、これまで年 2 回のフォーラムを開催してきました。前年度は、市民の皆さんが恐れている関東・東海地方を襲うであろうと予想される大地震に備えて市民フォーラムを企画開催(前回は 06.2.17)致しました。

今年度は、このような一般市民を対象としたフォーラムの他、近隣の NPO センターを訪問してその活動状況を視察し、自己研鑽をするような内部研修も行いました。このような活動を今後も継続いたします。

部員には、当運営会議の役員をはじめ市民活動の経験豊富な方々も多いので、団体の活動を支援するために何らかのお役にたてるものと思っています。(奥野)

相 談 部 会

指定管理者となって、今後は自立した団体としての一層の積極的な活動が要求されていると思いますが、そのために本来の事業目的である市民活動の支援体制(相談・助言活動)を強化したいと考えています。

従来の相談サービスの内容は、どちらかと言えばこれからボランタリー運動をしたいという人に対して、適切な団体を紹介するということが中心でしたが、これからは NPO 法人の設立から設立後の会計・税務や組織・運営上の相談・助言も積極的に行っていきたいと思います。

具体的には、毎週相談日を設けることや会計帳簿の記帳代行サービスを受託するなどして、小規模人数の団体の活動の支援を考えています。

なお、相談・助言のサービスに専念するため、従来の相談・交流部会の名称を改めました。(吉野)

財 政 部 会

当部会は寄付金を集め、「NPO支援かまくらファンド」への運用を行っています。この NPO センター活動の中で、実質的で大変重要な任務を担っていると認識しています。これから部員一同、張り切って企業や寺社などを回り、NPO 活動への理解と寄付をお願いしたいと考え、目下パンフレットなどを作っています。また事業活動による自主財源を増やす企画も考えながら鎌倉の NPO 活動に貢献したいと念じております。(平井)

「NPO支援かまくらファンド」 公開審査会 日程決まる！！

～～～まちづくりのために《汗する市民》へ資金提供～～～

☆ 日 時:11月3日(金・祝)14時～

☆ 場 所:NPOセンター大船

☆ 応募受付:10 月 1 日～20 日

※ 1団体5万円を限度に5団体予定しています。

※ 応募方法など詳細については決定次第通知いたしますので、ふるってご応募ください。

平成18年9月より 相談業務を開始しました

定例相談日時	場 所	相 談 内 容
毎週月曜日 10:00～16:00	NPOセンター鎌倉	NPO・ボランティア活動全般
第2土曜日 10:00～14:00	NPOセンター鎌倉	NPO法人設立・会計税務相談
第4土曜日 10:00～14:00	NPOセンター大船	NPO法人設立・会計税務相談

☆ 定例相談日以外は予約をお願いします。

☆ NPO法人会計の記帳業務も引き受けます。会計業務にお困りの団体は、お申し出ください。

理事会 ・ 各部会 ・ 諸、実行委員会報告

組織研究部会

組織研究部会は、鎌倉NPOセンターの主として組織運営問題を専門的に研究、検討し、センターの運営に貢献することを目指しています。平成 16 年度以降は、定款の一部改正や役員選挙規定の改正に取り組みました。現在は、野村総研跡地の市民、NPO組織の活用、特に市の跡地利用基本計画（平成17年策定）にある、市民活動交流館の管理・運営への市民やNPO諸団体の参画、参加の是非やあり方などについて、当NPOセンター運営会議や登録団体等の意見の集約とその線上での跡地現場におけるティーチインの開催を計画しています。ここが市民とその子どもたちの遊び、学び、文化を創る場になるか？注目されます。

（柳下）

協働事業推進部会

17 年度に市民活動団体に行った共同事業アンケートをもとに、ヒアリングを行い、行政との協働事業としてふさわしい 2 事業を庁内連絡会に提案しました。

協働事業の提案書に基づいて 2 事業の提案書を作成し、正式に合同会議へ提案しました。

今後は、19 年度事業として協働事業実現に向けて行政と調整していきます。（松本）

※合同会議：部会と庁内協働事業推進連絡会が合体した会議

諸、実行委員会

平成 18 年度の第1回「諸、実行委員会」が 7 月 13 日(木)の午後に開催された。

はじめに前実行委員長佐藤二朗氏より5月の「第8回かまくら市民活動の日フェスティバル」の経過が報告され、次いで活発な意見交換が行われた。

今年のフェスティバルは時宜を得た企画をはじめ、楽しい実演も多く、予想以上の盛り上がりをみたが、来年も更に魅力あるフェスティバルとなるよう、主旨の明確化や実行委員会のあり方などについても言及された。

フェスティバルの成功には、常に実行委員の方々の多大な尽力があることを付言します。　（担当理事 塩川）

広報部会

7 月 22 日に委員会を開催し「鎌倉パートナーズ」40 号の発行に向け、企画の検討を行いました。

ホームページ編集会議は、毎月 1～2 回行っています。今回はセンターの館内案内を作成することが検討され準備が始まりました。

また、NPOセンター事業として開催する「パソコン講座」のサポートも行います。（中垣）

来年のフェスティバル実行委員を募集！

「第 9 回かまくら市民活動の日フェスティバル」は、平成 19 年 5 月 12 日（土）、13 日（日）です。
多くの方々が実行委員に応募してくださるようお待ちしております。

※詳細は別紙をご参照下さい。

鎌倉駅地下道ギャラリー展 参加団体募集

開催期間 ： 平成 18 年 11 月 15 日（水）～21 日（火）
展示会場 ： JR 鎌倉駅地下道ギャラリー
内　　容 ： 日頃の活動の様子をパネル展示

※詳細は別紙をご参照下さい。

パソコン教室

10 月よりスタート

「パソコンをちょっと教えて下さいませんか～？」という会員の方々からの要望にお答えして、会員・登録団体・市民の方を対象にパソコン教室を開講したいと思います。

コース ： 初心者・初級コース
日 時 ： 10月スタート（3か月9回 木曜日 10:00～11:30）
場 所 ： 鎌倉センター2階会議室
定 員 ： 10名前後（先着順）
受講費 ： 1レッスン 500 円
パソコン ： ノートパソコン持参
テキスト ： NPOセンター独自テキスト

企画物コース（名刺作成・葉書作成・地図作成など）や単発質問に応じるコースなども考えております。
詳細はNPOセンター鎌倉にお問い合わせ下さい！

事務局からのお知らせ

全員会議のお知らせ

当運営会議の正会員による全員会議の日時が決まりましたので、お知らせいたします。

第１回全員会議

★ 日時：９月２９日（金）１８：００～

★ 場所：ＮＰＯセンター大船

第２回全員会議

★ 日時：１９年１月２６日（木）１８：００～

★ 場所：ＮＰＯセンター大船

当センター関係書類書式ダウンロードについて

当センター関係書類のうち、ホームページからダウンロードできる書類が増えました。「イベント掲載願い」のほかに「時間外利用申込書」「機材借用願い」もダウンロードできますので、どうぞご利用ください。

会員募集中 !!

市民運営を応援してください

正　会　員　　年会費 2000 円
個人賛助会員　年会費 2000 円以上　（一口 1000 円）
団体賛助会員　年会費 3000 円以上　（一口 1000 円）
（郵便振替）口座番号　００２８０－４－３６３８６
口 座名　　鎌倉ＮＰＯセンター運営会議

正　会　員 数 ： 86 名
個人賛助会員数 ： 17 名
団体賛助会員数 ： 165　団体
（9 月 1 日現在）

平成 18 年 9 月 1 日現在　利用登録団体数:311 団体

お願い　登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）が変更された場合は速やかにご連絡ください。

木製ロッカー貸し出しについて

既にお知らせいたしましたが、８月より木製ロッカーの貸し出しを始めました。（鍵はついていません）

Ａ４サイズ対応のロッカーには、まだ少しの余裕がございますので、申し込みを希望されるセンターにお問い合わせください。

使用料としまして、年間５００円の運営協力費をいただきます。

時間外利用登録制について

6 月から時間外の利用者は登録制になりました。より多くの会員の方々にご利用いただけるよう、**登録制**にいたしましたが、まだご存知でない団体も多いようですので、再度お知らせいたします。

利用できる時間：平日（月～土）、第 1・3 日曜日
17:00～21:00
第 1・3 以外の日曜日、祝日
9:00～21:00

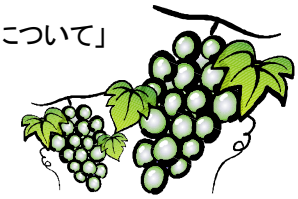
利用できる会員：正会員、個人賛助会員、
団体賛助会員（1 団体から 1～2 名の登録）
※団体賛助会員とは、団体賛助会費をお納めいただいている団体です。

登 録 の 方 法：センターで時間外利用の講習を受け、登録する。（登録証を発行）

講 習 開 催 日：原則として、月曜日(大船センター)
火曜日午後・木曜日午前(鎌倉センター)
※いずれかの時間にお越しください。

※現在、時間外利用をしている正会員の方も、講習を受け登録してください。

※詳細は、同封の「時間外利用について」のお知らせをご覧ください。



編集・発行：特定非営利活動法人　鎌倉市市民活動センター運営会議
神奈川県鎌倉市御成町１８－１０　鎌倉市市民活動センター

NPOセンター鎌倉
〒248-0012　鎌倉市御成町 18-10
TEL：0467-23-3000 内線 2655
FAX：0467-60-4555
e-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船
〒247-0061　鎌倉市台 1-2-25
（たまなわ交流センター　1階）
TEL/FAX：0467-42-0345
e-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp